時代のズレを痛感

映画の中の父と娘の生き方

七夕主婦会が座談会

主婦会七夕分会はさる一月二十九日午前十時より大宇宙で「逃げ出した縁談」「おしどり遍路」の映画鑑賞を行つた。日ごろから炊事と洗濯などに追われて忙しい主婦たちも、この日ばかりは社会科勉強の一端と、一〇三名が早朝より集まり、涙と笑いの半日を過したついで翌三十日午前十時から七夕社宅松尾分会長宅でこの映画を見ての感想をテーマに本所支部広瀬部長の司会で座談会がもたれ、映画を通してみた自分たちの位置や立場などについて活発な意見が続出、笑いのうちに楽しい学習の一時間半を過した。

新しい感覚は学習活動から

司会　みなさん、本日は苦労さんです。では早速映画の内容の方へはいつてゆきましよう。

Oさん　「逃げ出した縁談」は考えさせられました。

Aさん　そうですね。あの父親と私たちの育つた時代が同じという点から、子供たちが結婚適令期になつた場合、私たちもあの父親のように子供の気持がつかめないかも知れないという点で教育を受けている子供とは違うでしようからねエ。

Eさん　明治―大正―昭和と三代に生きてきた私たちが、新しい感覚を持つようになるためには日常の学習活動が必要ですね。

組織があるところはありがたい

Fさん　家庭ではワンマンの父親が、会社の社長や上役には必要以上にペコペコ頭を下げていたが、もしうちの主人がああやつているとしたらイヤですねエ。

Hさん　社長の二号さんにでも、「奥さん、奥さん」といつて頭を下げていました。

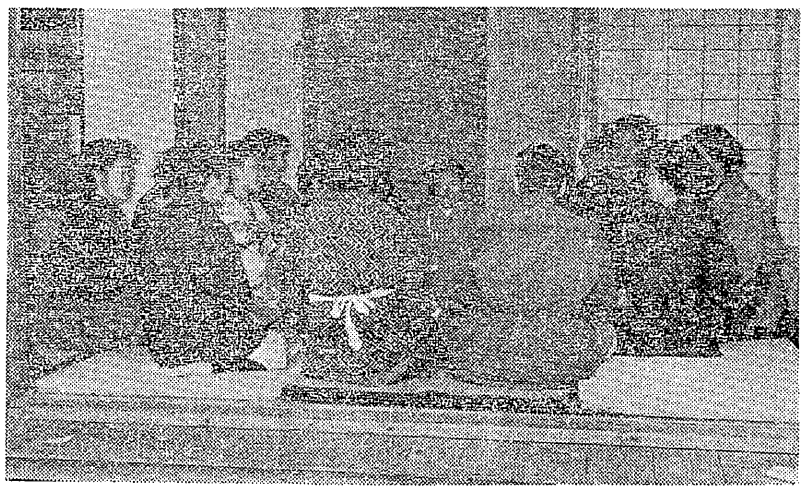
司会　組織のない所では、全部といつていいほど、あんなにペコペコしているんじやないんですね。

Gさん　私はあんなにオベツカをつかつてまでうちの主人に職員や係長になつてもらいたくないですよ。（笑）

司会　その点は私たちの三井とは違いますね。会社が大きいせいかもしれませんが、あんなにトントン拍子に出世しないから。工員の中でも職員や課長より有能な人がいますが、この人たちはだからといつて課長になれるかというと絶対といつていいほどなれない。これなんか大きな目でいつていましたね。

Gさん　私はあんなにオベツカをつかつてまでうちの主人に職員や係長になつてもらいたくないですよ。（笑）

司会　その点は私たちの三井とは違いますね。会社が大きいせいかもしれませんが、あんなにトントン拍子に出世しないから。工員の中でも職員や課長より有能な人がいますが、この人たちはだからといつて課長になれるかというと絶対といつていいほどなれない。これなんか大きな



写真は七夕主婦会の映画座談会

際に家庭があの通りだとすると危いわんですね。

Bさん　その意味から映画を見るのも必要だし、学習活動の重大さを感じます。

手本にしたい劇中の長女

Hさん　あの長女になつた娘さんには感心しました。

Iさん　そうですね。弟や妹、そして父親の面倒も奥さん以上にみていました。いまどきの娘さんには是非見習つてもらいたいと思いました。

Jさん　私は娘が、母親のいないため家庭の犠牲になる立場に追いこまれながらも、私も幸福になる権利がある、と考えている点、つまり青年と最後に結ばれた点に感心しました。

Kさん　昔だつたら嫁にも行かず家庭のためという誤つた美徳に女だけが犠牲にされていたんですからね。

Lさん　現代女性の模範的なゆき方でしよう。

司会　「おしどり遍路」の方はどうでした。

Nさん　あのう殿様の行列の時に土下座をしましたね。アレほんとにやつていたんでしようか。

司会　ほんとなんです。明治維新になつてから土下座という形はなくなつたんですが……

Aさん　土下座した農民たちはキツかつたでしようね。自分たちが米麦など作つて殿様や武士たちを養つていたのに、その養つている者に頭を下げなければならなかつたのですから……

Mさん　殿様がいまでいうと資本家ですね。

Oさん　そうすると、現代の「形なき土下座」を一日も早く解放しなければなりませんね。

司会　初めから活発な意見が出て司会者としても司会の仕甲斐がありますね。では大体月に何回くらい映画をご覧になるか、その回数をひとつ……

Eさん　月に何回なんて、そんなゆきません。年に二回か三回くらいでしよう。

Oさん　赤字の上に赤字が増えますからね……。

Hさん　時々は頭の切替えが必要と思つてゆくが、その時は子供たちも一緒なので料金より他のお菓子代などが高くつくので、そうたびたびはゆきません。

儲け主義でなく良心的な映画を

司会　いまの映画の傾向についてお気付の点がありましたら……

Aさん　性欲を取扱つたものが多すぎますね。

Bさん　いまの映画には大低キツス・シーンやストリツプ・シーンがあるので、話してわかる年どろならいいが、まだわからない子供から「母ちやん、アラ何ばしよつとね」と大きな声でたずねられたときには困ります。

Oさん　儲かり主義で作るのではなく、もう少し良心的な映画を作つてもらいたいと思います。

Kさん　料金も高いですよ。大牟田なんか十五か映画館があつても黒字でやつてゆけるんですかられ。映画会社は暴利をむさぼつていますよ。

Iさん　もつと安くして、大衆料金にすべきですよ。

司会　映画会社の一方的な儲け主義があんなエロ・グロを流行させるんですね。

Aさん　話は変りますが、街へ出るとパチンコ屋の前に自転車がズラリ並んでいるのが目につきますね。私はその前を通るとき「このやつている人たちの大半がパチンコのために借金を作つている人、家庭を破壊した人、夫婦ゲンカの絶えない人、そしてこういう人たちは妻のことや子供たちのことを少しでも考えているのだろうか」といつも思うんです。私たちは昨日のようにハバで映画を見ていていいという場合も、主人たちは仕事をしているのに、自分たちだけノウノウと映画を見ていてと、何だかすまない気がしてくるんですが、男の場合どうですか。広瀬さんは奥さんのことなど時には思い出されますか。

司会　そうですね。男は女とはいく分違うでしようが、それはその人その人によつて考え方も違うんではないでしよか……

Aさん　ごまかしましたね。（笑）

司会　では時間も来ましたし、このへんで一応終りたいと思いますが、これから先もこのような会合をどしどし持つてもらい、幹部だけの主婦会ではなく、一人一人の主婦会の方向へ努力して進んでいつてもらいたいと思います。

船の遭難

また船の遭難、こう度々あつては、「また」といいたくなるのです。

南海丸が淡路島南方で遭難したとラジオのニュースでききまして、また何人かの遭難者が出るだろうかとおもつたときに、ソツと身震をかんじました。

誰にしろ、まさかこんな大難が、待ち構えていると、夢にも思わずに乗られたでしよう。

家族にしてみればあのとき乗らなかつたらだずかつていたのにとか、船が出なかつたらとか、何度おもいかえしてもあきらめがつかないことだとおもいます。

遭難の原因は海難審判の結果をまつほかはあるまいと新聞には書いてあるけれど、誰とて運命ですよ、あきらめますという人はおそらくないでしよう。

ラジオと電報で強風注意報は出したけど船はしらないで出航したとのことです。こんな無責任なことつてあるでしようか。もうすこし人命の尊さということを、慎重にあつかえないものか、外ながら腹が立つてくるのです。

働き手をうしなつた家庭に与える経済的打撃は深刻なものだとおもいます。もし自分の家庭にして見て主人が旅行先で遭難したとすれば、子供かかえてどうするか目先はまつくらです。

ことがおこつてからの補償よりも、事前の命の保障が第一に考えてもらいたいとおもうのです。

（馬渡分会　高木千恵子）

三川が初優勝

第四回三鉱サツカー

第四回三鉱サツカーはさる二日（日）午前十時から四山グラウンドで行われたが、折柄の土砂降る雨の中に六チームが大熱戦を展開、三川チームが住年の覇者港務を四対〇と一方的に破つて優勝した。

この日は前夜から降り続く雨にグランドコンデイシヨンは全く悪く九時からの試合を一時間待つて十時より開始された。

まず三チームを一パートにした中でリーグ戦を行つた結果、Aパートの港務、三作、本所は港務、本所が三作を一対〇とそれぞれ降したが、同点勝のため抽せんを行つた結果、港務が星を上げた。

Bパートの三川、四山、宮浦の間では、三川チームが他の二チームを一方的に破り圧勝した。

ついで待望の雨もあがつて午後三時半、AパートのBパートの勝者港務チームとBパートの勝者三川チームの間で優勝戦

往年の覇者港務が連勝をねらえば、猪敵港務をいさんと三川チームも必死、前後の見ざかいもつかないほど泥にまみれて大熱戦の末、三川のチームワークよく四対〇と強剛港務チームを一方的に破つて初の優勝を飾つた

囲碁教室（42）

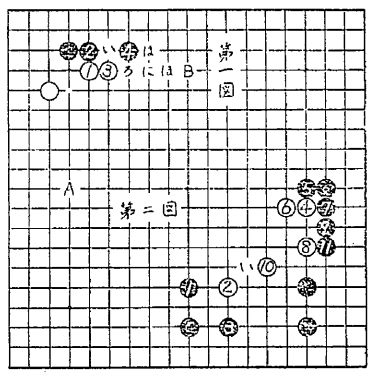
三線と四線の交換

三線を押されて二線をはうのは不利で、五線を押されて四線をノビるのは有利でしたが、三線と四線の交換はどうでしようか。

第一図の定石はAB両辺に双方未着手の場合、即ち他との関係を考慮せず、この部分だけについていえば、双方互格とされています。三線と四線の交換の損得をいうのに、この定石にたいする批判がそのまま適用されているようです。この形はここだけでは、多少とも実利を占めた黒に有利であるという見方もあります。然し黒4の手でいと押して、白ろとノビさせるのは一般に黒不利とされています。

従つて三線は最少限にはつて黒4のように一歩先にトビ出すことが大切です。即ち三線と四線の交換は先に頭を出した方に多少歩があるといえるようです黒4とトンでおけば、後に白ろ黒は、白にの時黒ほとハネ上げて四線と五線の交換に移ることも可能です。

第二図、黒1とトンだ後、黒から辺りに囲われると、この黒模様は殆んど白から手がつけられない状態になります。そこで白2と隅み黒3と受けさせ、一転して白4と扇をツき、黒模様を薄く消す打ち方が常に行われます。これは黒地を三線までに限定して四線以上の地を囲わせまいとするものです。黒11までの分れは、双方の手数を考えると不満のないものといえます



橋口　初義
撰　敬一

大評判の寫眞ドコヤ

寫真部員の力作展示

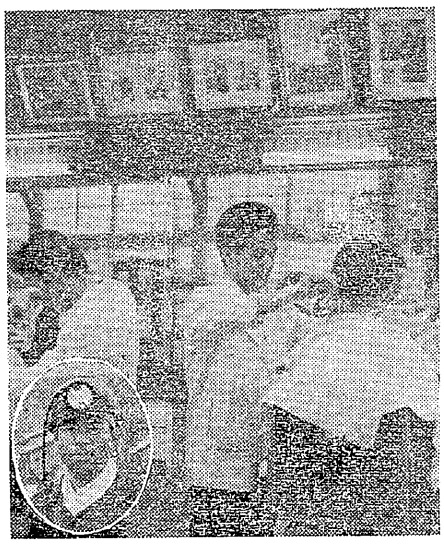
大谷社宅の厚生トコヤを利用している人はすでにご存知であろうが初めての方もここが一見して他の店と違つたところを発見されるであろう。それはこの店が、写真展覧会場みたいに正面から待合所にいたるまで写真々々であるからである。大は額に入つた四切から、小はキヤビネまで、数十点が新陳代謝の恰好で展示され、利用する人たちの目を楽しませているが、これは写真マニヤの長南久太さん（44・四山竪坑仕繰）がたまたま髪を刈りに行つた時、店内の福永さんに頼まれたのがそもそもの始まりである。

当初は長南さんの作品一辺倒であつたが、地域分会に写真サークルができ、責任者に選ばれてからは、サークル全員の作品も展示するようになつて、いまのようにトコヤ兼展覧会場になつた次第である。

この試みについて長南さんは、福永さんから相談をうけたときはどうしたらいいものか迷つたが、お客さんから批評してもらえばそれが自分の勉強にもプラスすると思い、恥ずかしかつたが出してもらうようにした。またこれはサークル全員にも活用することで、自分たちだけでやるより、より以上の進歩があると期待してつづけている。展示する以上、生半かなものは出せないし、批評に価する作品を出すべく全員が努力している、と言つていた。

また、お客さんの一人は、頭を刈りにきて写真を見るのが楽しみです。他所のトコヤのように同じものがいつまでも掲つているのでなくて常に新しいものと取替えられている。私も写真を少しやつているがなかなか力作ぞろいで参考になる作品が多い。とあらしていた

長南さんは十五年という写真経歴の持主で、「みいけ」にも連続三回入賞されており、分会でもこの道にかけてはベテランで夜は自分の暗室で後輩を指導するかたわら自分の勉強もやつているという、地味な縁の下の力持的労働運動推進者である一方家に帰れば妻のマツ子さん（34）の良き夫であり、一姫二太郎のよき父でもあるという全く幸運に恵まれた家庭の持主である。



特配炭を売る店

こんどの福利団交で獲得した、冬場の石炭増配（一〇〇キロ二十円）の申込み受付期間は二月二十八日までとし、配給予定日を

第一次　二月十八日―二十一日まで（取渡れ二十二日）

第二次　三月四日―七日まで（取渡れ　八日）

取扱店名

南浜田町（執行本店）不知火町（執行駅前支店）草木（池田商店）倉掛（瀬の上商店）花園町（梅崎商店）三軍町（中村商店）七夕荒店前（水洗場）渡瀬町（田中商店）荒尾市駅前（濱口商店）

次の商店は別指定として、二月十八日、十九日（取渡れ二十日）に取扱うことになつている。

大牟田市浜町　大牟田販売所
柳川市保加町　柳川営業所
荒尾有明小校隣　荒尾協跡
大牟田市勝立上池谷　岡村保容方
玉名市　原口商店
長洲町　平田商店